

令和4年5月24日

保護者、地域のみなさま

横浜市立本町小学校

校長 田川 斉史

熱中症予防のための、マスク着用について

この度、横浜市教育委員会「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」の改訂があり、学校生活でのマスク着用について、変更をしましたのでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、いつも「マスクを着用すること」としていましたが、夏季の高温時の熱中症予防を重視して、次のような場面では「マスクを外す」ことを推奨します。

- 屋外で十分な間隔が取れる条件での「運動(遊び)」の場面
- 室内でも体育館など広いスペースで十分な間隔が取れる条件での「運動(遊び)」の場面

今まで通り、マスクを外した時は、大きな声を出したり、向かい合って話したりしない約束を徹底します。給食(食事)、リコーダー演奏などマスクをとらなければならないときは、同じ方向を向いて十分な間隔をとるようにします。

体育の授業などの「運動時」におけるマスクの着用について

学校生活ではマスク着用を基本としていますが、屋外で距離を取って活動する場合にはマスクを着用する必要はありません。特に、気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日には、熱中症等による健康被害が発生するおそれがあることから、WBGT 21℃以上の場合、屋内外に関わらず、体育の授業等運動時はマスクを外すように指導いたします。28日の運動会では、徒競走、演技で「マスクを外す」ことになります。

屋内では換気の悪い空間とならないよう換気設備を適切に運転することや、窓を開け外気を取り入れ十分な換気を行うことに留意します。今まで通り、サーキュレーター扇風機を作動させ、天窓の開放も行います。

ただし、授業前後の着替えや移動の際、授業中、教師による指導内容の説明やグループでの話合いの場面、用具の準備や後片付けの時など、運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用するように指導いたします。

上記に加え学校では引き続き、こまめに水分補給や日陰での休憩を取り入れ、水分補給は適宜必要に応じて行ってよいということを見童に指導します。また、息苦しさを感じた時は、人から離れてマスクをとって休憩させるとともに、具合が悪くなったときは、すぐに教師に伝えるよう見童に指導します。

登下校中におけるマスクの着用について

熱中症予防のためマスクを外して登下校する際は、人との距離を十分に保つこと、なるべく会話をしないこと等に気を付けて行動するように、ご家庭でもお声がけをお願いします。学校でも、マスクを外す際には、特に人との距離や会話について配慮するように指導します。

なお、マスクを外すことに不安を感じる方もいると思います。マスク着脱の判断については、ご家庭や本人の意向を尊重いたします。マスクを外したくない見童、体質等の理由でマスクを着用できない見童が、マスクの有無によって差別やいじめの対象とされることのないように、引き続き指導してまいります。